



2026 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 ヤマトホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長尾 裕
(コード番号：9064 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 I R 統括 寺澤 敦
(TEL. 03-3541-4141)

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 1 日に公表しました 2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,880,000	40,000	40,000	24,000	75 円 66 銭
今回発表予想 (B)	1,860,000	28,000	27,000	15,000	47 円 29 銭
増 減 額 (B-A)	△20,000	△12,000	△13,000	△9,000	—
増 減 率 (%)	△1.1	△30.0	△32.5	△37.5	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2025 年 3 月期)	1,762,696	14,206	19,587	37,937	111 円 87 銭

2. 通期業績予想修正の理由

経営の優先課題としてプライシング適正化を推進し、宅急便の単価は概ね想定通り上昇しています。一方で、収益性を重視した低採算な荷物の取扱い抑制に加え、物価上昇に伴う消費マインドの停滞を背景とした荷動き鈍化が想定を超えて進んだことにより、大口法人のお客様からの取扱数量が想定を下回って推移したことなどから、営業収益は前回予想を 200 億円下回る見込みです。

営業収益の減少に伴い営業費用は前回予想を 80 億円下回る見込みですが、調達単価の上昇に加え、想定以上の取扱数量の減少により輸送効率が低下した影響などを踏まえ、営業利益は 280 億円（前回予想差△120 億円）に下方修正いたします。

以上を踏まえ、経常利益は 270 億円（前回予想差△130 億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は 150 億円（前回予想差△90 億円）に下方修正いたします。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上